



第21号 (2014/8/14)

広島県福山市木之庄町4-3-14
Tel&fax: 084-917-5937
e-mail: info@crcc-fukuyama.org



Community Renaissance Research Center

2014年度総会を開催

去る6月7日午後1時より、2014年度通常総会を開催し、2013年度の事業報告、活動計算報告、監査報告及び2014年度の事業計画と活動予算案が承認されました。昨年度は山口への研修旅行、高齢者の出来るをつなぐ水やり、小物作りなどの取り組みなどのほか、2012年度からの課題であったブックレットの作成と紙芝居の印刷をすることが出来ました。また福山建築物耐震診断等評価委員会は、全国ネットワーク委員会と耐震判定委員会への加盟が認められました。

今年度は引き続きこれまでの事業を実施していきます。



総会終了後、福山建築物耐震診断等評価委員会の南委員長より「既存建築物の耐震化に関する2、3の問題」について、約1時間お話をいただきました。

日本は1968年の十勝沖地震から2011年の東日本大震災までの40年余の間に発生した地震のたびに、建築物の耐震補強に関する新たな問題点が明らかになってきた。そうした取り組みにより、建築基準も既存建築物の耐震性から非構造部材の耐震性へ、さらに2000年には住宅性能評価に基づく住宅性能表示へと変化してきている。

また、法隆寺の五重塔やヨーロッパの建物は耐用年数が長いと言われている。それは、いずれも修繕、改修のリニューアルを重ねてきているからであり、我々の住宅もリニューアルを重ねることから耐用年数が伸びるとのこと。

皆さん、「ご自分の家のことも気にされて活発な質問がいくつも出ていました。

講演終了後は例年のように、お茶を飲みながら会員相互の交流を深めました。



南委員長による講演

これからの行事予定

9月13日(土)

「オレオレ詐欺の被害にあつて」

講師：原 奉宣さん

場所：ルネッサンス研究所集会室

時間：14時～16時 ・参加費：500円

原さん自身がオレオレ詐欺に遭われた話を聞きながら、そういった被害に遭わないための手だてをかんがえてみませんか。

10月4日(土)

「童謡からシャンソンまで」

♪ 歌詞に込められた意味を読み解く♪

フルーツティーを飲みながら

講師：江藤朝子さん(お話し)

三浦貞江さん(フルーツティー)

場所：ルネッサンス研究所集会室

時間：14時～16時 ・参加費：500円

やなせたかしさんのアンパンマンの歌にも彼のような想いが込められています。日頃何気なく口ずさんでいる歌の、歌詞の持つ意味を考えてみませんか。

いずれもFaxまたはメールで申し込んでいただければありがたいです。

福山の産業観光ツアーや研修旅行など、その後の企画は現在検討中です。



田植えに行きました

6月8日(日)に芦田町の小野さん宅で田植えをさせてもらいました。市立大の野菜クラブの学生さん3人と羽田さん一家、可世木さん一家、廣中さんが参加しました。

やらせて頂いたのは機械植えの後の浮き苗の植え田なおしでした。

4才と3才のチビちゃんは田んぼの中は少し気持ち悪かったようですが、カメをもらって大喜びでした。大人たちは水の中が気持ちよかったですと大満足でした。小野さん、本当にありがとうございます。

紙芝居 その後

紙芝居の完成を前号でお知らせしましたが、解説が出来上がった6月3日に紙芝居の3カ国版完成の記者発表をしました。

各新聞に掲載されたおかげで広島、岡山などからも電話をいただきました。そのなかの幾つかのエピソードをご紹介します。

●福山市議会議員、広島市の県立図書館、市立図書館のほか、保育所、読み聞かせボランティアをしている人などから購入していただきました。

●広島市の観光ボランティアをしている方からは、児童書「ハトのおじいさんの話」を進徳女子高校美術部員の描いた絵をスライド上映する紙芝居にしたという新聞記事を送っていただきました。

●三原市で紙芝居をやっていらっしゃる方からは、「購入した紙芝居を8月6日に原爆ドームのところで上演したいが良いか」というお電話をいただきました承。

●岡山の高齢者施設で働かれている方がわざわざ買いに来て下さいました。施設で上演したら絵が可愛くて好評だったそうです。その話を聞いて上演してもらった「地域の絆」では、認知症の利用者さんが英語版の紙芝居を読まれた、という話も聞きました。

●参観日に小学校低学年の子ども達に読み聞かせボランティアをしている方からは、「いつもは騒がしいのに、この紙芝居はみんな静かに聞いていた」とおっしゃっていました。

●今年「アオギリにたくして」という映画が上映されます。この物語の主人公は被爆アオギリを見て生きる希望を取り戻し、平和公園のアオギリの木の下の被爆体験を語り継いでいた沼田鈴子(ぬまたすずこ)さんをモデルにしたものです。紙芝居を購入した方から、「ひろしまの八丁座で8月2日から8日まで上映される映画会での紙芝居とNPPOの宣伝をしても良いか」というお電話をいただきました。さっそくポスターを作り見本誌と希望者にはおわけできるように紙芝居を送りました。

福山でもシネマモードで8月16日から22日まで10時より上映されることを聞き、お願いしてみると、委託販売をしていただけることになりました。「都合のつく方は是非ご覧になってください。」

会員が購入して友人の子どもや孫へと送付しての反応もご紹介します。

●公立図書館に寄贈したり、知り合いに差し上げた。

●サークルで紙芝居を披露し、子どもたちはみんな真つ直ぐな眼差しでじっと聞いていた。幼稚園にも持って行き、読み聞かせをしようと思っている。一人でも多くの人の心にこの作品が届くように私なりにやってみようと思っている。など

2014.6.4

朝日新聞

平和の願い 紙芝居の力

「被爆アオギリ」テーマ 3カ国語版作成

原爆で焼け焦げながらも枯れずに芽吹いた「被爆アオギリ」をテーマにした紙芝居を福山市立大の教員らが今春作った。日英仏の3カ国語でつづり、明るい絵で子どもたちに平和のことを伝える構成。家庭や学校での平和教育や、英語教育の教材としても活用を呼びかけている。



大庭三枝准教授(左)と製作に携わったNPO法人の加納三千子さん(福山市内)

紙芝居「被爆アオギリ物語」(B4判)を作ったのは、同大教育学部の大庭三枝准教授(幼児教育・保育)ら。広島市にあるアオギリが原爆で引き裂かれ、それでも芽吹き、2004年の台風でなぎ倒された際には市民らがこぞってアオギリを救おうとしたストーリーが16枚の絵で描かれている。初めは06年、当時のゼミ生6人と、福山市に住む被爆者で被爆アオギリ2世の普及に努めている彦坂昭子さんの話を聞き、日本語版を作った。非売品として福

福山市立大教員ら「教材として活用を」

市内の公立図書館などに10部ほどが寄付され、現在でも夏になると常に貸し出し中になるほどの人気だ。さらに08年、仏語も専門にしている大庭さんが仏語訳版を作った。フランスで、子どもたちが教員養成学部のある大学などで表演し、高い評価を受けた。「文化や言語が違っても大人から子どもまで幅広い人に共感してもらえた」という。来年の被爆70年に向け、新装版として英語を加えて3カ国語版にし、教材としての意味や平和教育の歩みなども記した解説本も加えた。費用約60万円は福山市のNPO法人の寄付金などで工面した。

大庭さんによると、子どもが集中力を保ったまま学べることから、紙芝居教材への注目が幼児教育の現場で高まっているという。「紙芝居という日本の文化を通じて、20世紀の過ちが二度と起きないようにしていきたい」

今後は平和教育だけでなく、国内の小学校での英語教育でも活用してもらいたいと期待している。紙芝居は定価1千円(税別)。注文や問い合わせは、NPO法人「コミュニティルネッサンス研究所」(084・917・5937)へ。(両宮徹)

新聞、テレビのニュースなどで多数取り上げていただきました！

グリーンカーテンの水やり



車イスの方も水やりに

今年もNPO法人事務所のグリーンカーテンへの水やりを「地域の絆」の利用者さんにお願いました。昨年は一ヶ月通してお一人の方にお願いで、一朝水やりをしていただくお気持ちだけの50円をお支払いしていました。

ところが今年はお水やりをやりたいたいという希望者が沢山でたそうです。それで順番制になり、毎朝違う方が見えています。先日は車イスの方も来て下さいました。

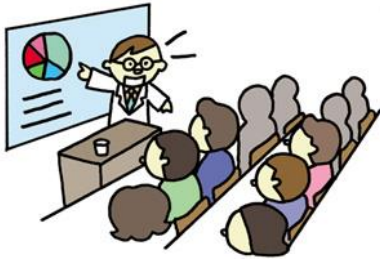
「いくつになっても自分ができる仕事をしたい」という気持ちがあるんだなあと思いました。それを大事にしながら、それぞれの出来るを繋ぎ合わせるまちづくりをこれからどう作っていくか。その重要性を改めて感じました。

**建築物耐震補強工法
説明会の開催**

この講習会は昨年度からやったら良いねと考えていたものです。今年度やっと開催の運びとなりました。

阪神大震災や東日本大震災を経験する中で建築物の耐震改修が進められてきました。しかし広島県、なかでも福山市は全国でも耐震改修が遅れている地域です。

今回は第1回目として、まず評価委員会委員による現状と課題について説明をし、設計実務者より五工法の耐震改修工法の留意点等の解説を行うつもりです。この講習会の実施により、工法を理解した施工業者による的確な耐震改修が実施できるようになり、安心・安全なまちづくりに一層の寄与ができると考えています。
関心をお持ちの皆様の参加も歓迎です。



日時…9月4日(木)10時～17時
会場…備後地域地場産業振興センター
4階大会議室

参加費…千円(資料代含む)

内容…

①講演

「地震と建築」福山地域の現状と課題

②補強工法説明順位

1. デザインフィット工法

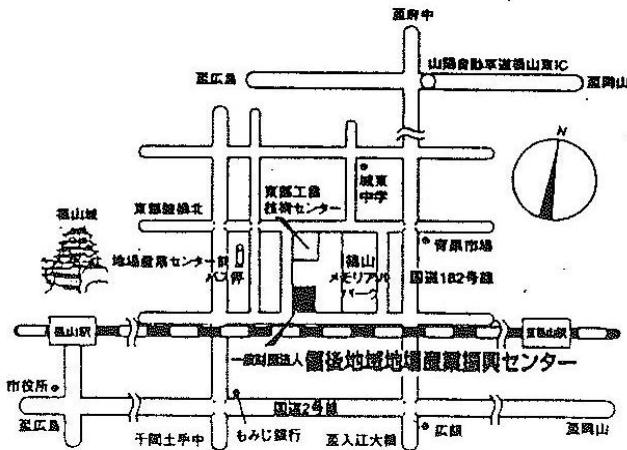
デザインUフレーム工法

2. PCa外フレーム工法

3. ピタコラム工法

4. ハイブリッド工法

5. JFEの耐震・制振補強工法



会場地図

編集後記



8月6日、息子の通う幼稚園の参観日で、親子で福山市人権平和資料館を訪れました。戦争や福山空襲のお話を真剣に聞く子どもたち。子どもたちにもわかりやすく教えてくださいました。最後には「みんなで平和な街にしようね」と願いを込めて、千羽鶴をお供えました。
私は福山に住んで7年になります。初めて知る話も多く、平和の大切さを実感することが出来ました。安心して過ごせる日々感謝です。

暦の上では立秋を過ぎましたが、まだまだ残暑厳しい時期が続きます。体調を崩さないよう気を付けてお過ごしください。(原田)

